



## 夏祭り地域絆

豊原校区で8月6日、3年ぶりに夏祭りが開催されました。コロナ禍で開催を悩んだという同校区の志岐龍己公民館長。そんな心配をよそに、当日は大勢の住民が訪れ、金魚すくいや射的などの露店を楽しんだ他、太鼓やダンス、盆踊りなどで交流を深めていました。最後には恒例の花火が打ち上げられ、訪れた人の夏の思い出を彩りました。

### CONTENTS

	ページ
地域と共に考える学校教育の未来	2-3
10月2日は市議会議員選挙	4-5
3年ぶりに水まつり開催 ほか	6-7
年男・年女集まれ、水都 info ほか	8-15
お知らせ掲示板、思ひ出写真館 ほか	16-23

広報やながわ

令和4年9月1日号 No.414

●発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1  
●編集 総務部企画課広報広聴係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520  
●URL <https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/> ●e-mail [kouho@city.yanagawa.lg.jp](mailto:kouho@city.yanagawa.lg.jp)

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。



【上】共に2種目で県大会優勝に輝いた西田陽俊さん(左)と田中亜希さん【左上】西田さんの武器は後半のスピード。自宅でも器具を使って鍛えている自慢の筋力でトップスピードを維持し続ける【左下】スタートダッシュやメンタル面の強化など、自分の課題をしっかりと整理し、練習に励む田中さん

## 柳川探求

No.29

柳川で光り輝く人や魅力的なもの・ことを紹介します。

## 三潞高校の2人がカヌー県大会優勝 パドル1本で水面を駆け抜ける

西田 陽俊 さん (中島・17歳)  
田中 亜希 さん (間・16歳)

5月28日に久留米市で開催された福岡県高等学校カヌー選手権大会。1人乗りと2人乗り500mの部に出場した市内在住で三潞高校3年の西田陽俊さんと同校2年の田中亜希さんが、それぞれ両種目で優勝に輝きました。

### 共に得意とするのは後半 持ち味を發揮して県大会制覇

大和中学校3年生のとき、2歳年上の兄に憧れてカヌーを始めた西田さん。一方、田中さんは昭代中学校1年生のときに地元の指導者から薦められて本格

的に競技をスタート。2人とも中学校卒業後は、カヌーの強豪三潞高校へ進学しました。同校カヌー部の休みは月曜日だけ。平日2時間、土日3時間の厳しい練習に、週6日打ち込んでいます。また、西田さんは部活動とは別に、早朝練習や筋力トレーニングにも励んでいるそうです。

2人が専門とする500mは、いかにトップスピードを維持できるかが鍵になる種目。多くの選手は後半スピードが落ちる中、2人はトップスピードを維持するのが得意。5月の県大会

で、西田さんは「前半で前に出られれば後半は負けない」、田中さんは「スタートが上手く決まれば大丈夫」とそれぞれ自信を持って臨めたといいます。その結果、1人乗りと2人乗りの両種目で揃って優勝し、全国大会への出場権を獲得。しかし、新型コロナウイルスの影響で全国大会出場はかないませんでした。それでも2人は「全国の強豪と競える大会はまだあるので、しっかりと準備していきたい」と次の大会へ向けて気持ちを切り替えて練習を続けています。

## 編集後記

地区大会での1勝を目標に掲げ、中学最後の大会にのぞむ息子を応援、ブロック大会を勝ち進み、地区大会へ進出。初戦の相手は記憶を思い起こすと私が30年前に対戦し、敗れた学校だ。親子2代の絶対負けられない戦いは接戦に。結果は見事勝利し目標を達成。ついでに親のリベンジも果たしてくれた。全雄

柳川観光大使

## 大淵盛人九段の次の一手

【今月の問題】 広々とした白の地と、ぐらりと細長い黒の地。どちらが勝ちでしょう。  
【豆知識】 宗教や思想、禅、そして囲碁。若き日のスティープ・ジョブズは己の興味と感性を信じ、さまざまなことを探求しました。

